

窓辺をかえる、明日が変わる。

TOSO

株主・投資家のみなさまへ

第72期のご報告

2011年4月1日から2012年3月31日まで

トップインタビュー

コアビジネスでの競争力強化と収益力向上による
新たな成長分野への積極投資へ

New Product 新製品紹介

オフィスに最適な光と省エネ効果を発揮

角度変化型ブラインド **「グラデーションブラインド」** 新発売

「特集」

国際シャッター・ブラインド・門扉専門見本市

「R+T2012」 トーソーグループとして出展

株主優待制度のご案内／株主配当のお知らせ

年間配当金を増額

【お知らせ】 単元株式数を100株へ変更

トーソー株式会社

証券コード：5956



株主・投資家の皆様へ



コアビジネスでの競争力強化と収益力向上を通じて、新たな成長分野への積極投資を目指します。

Q 当期は自然災害の影響や世界的な経済の低迷など、企業にとって厳しい環境が続いていると思います。御社の事業環境と業績はいかがでしたか？

自然の力をまざまざと見せつけられた東日本大震災の影響により、建物をはじめ鉄道、道路、橋、農水産施設の倒壊、流失といった直接的な被害だけでなく、サプライチェーンの崩壊による企業活動の停滞と電力供給問題など、将来の経済活動に大きく影響する課題も浮き彫りとなりま

した。弊社グループの業績に影響の大きい住宅市場においても、政府による景気刺激策などの後押しにより、わずかながら前年を上回る水準まで回復したものの、震災により一時的に着工が落ち込みました。また欧州債務危機や米国景気の回復遅れといった世界的な経済不安も重なり、年間を通して不安定な状態が続きました。

しかし、こうした激変する環境の中でも、弊社グループは前期比2.6%の増収となりました。カーテンレールやブラインド等の戦略的な新製品を投入し、展示会などのプロモーションを効果的に展開した成果であったと感じています。また、当期は節電が社会的課題となったことで日差しを遮るブラインド類の需要が喚起され、こうしたニーズに応える製品を効果的に提案できたことも売上拡大に寄与したと思います。

利益面では、継続的に取り組んでいる原価低減活動や経費削減等に努めたものの、全体としては売上原価率をやや押し上げる結果となり、また、震災への対応費用も発生したことにより、経常利益は23.0%の減収となりました。

平素は格別のご支援を賜り誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

おかげさまで、弊社は2012年3月31日をもって第72期を終了いたしました。

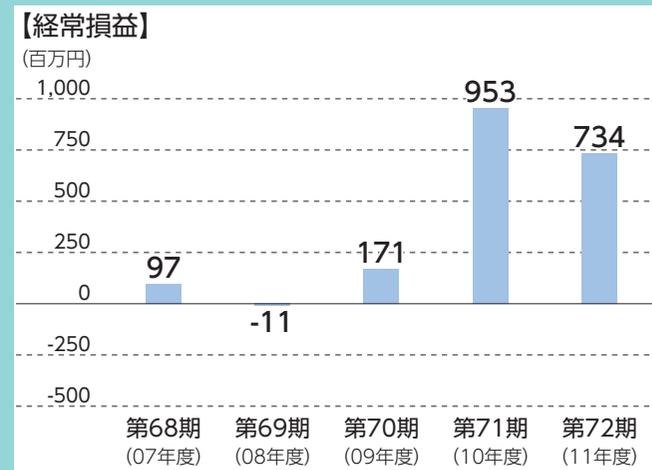
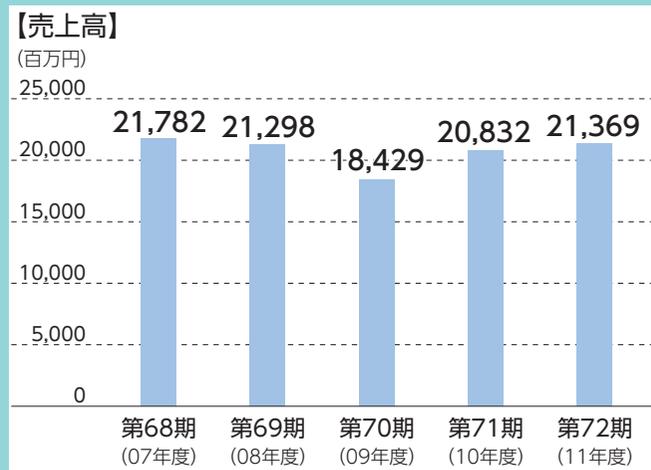
ここに事業の概況と今後の諸施策につきましてご報告いたします。

今後とも皆様の一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

取締役社長

大槻保人

連結決算ハイライト



Q 新しい中期経営計画の内容をお聞かせください。

2012年度より、新たに4ヶ年の中期経営計画をスタートいたします。まずは、窓周り商品の提供というコアビジネスである室内装飾関連事業において、「デザイン」「機能」など多様化する消費者ニーズや、「省エネ」「安心」「安全」など環境に配慮した新製品を継続的に開発し、持続可能な成長力と収益力の向上を目指します。また、長期的には新設住宅着工戸数は漸減が見込まれており、新たな成長分野への取り組みを強化していききたいと思います。

成長分野として期待の大きい海外市場では、2011年8月に直接投資による欧州事業拠点「トソーヨーロッパS.A.S.」を設立するなど、海外市場に対する基本政策を見直しました。今後経済成長が見込まれる主要エリアについてはマーケティング全般に踏み込んだ活動を展開することで海外売上高比率10%以上を目指します。

また、非住宅分野事業についても営業活動を強化し、オフィスやホテル、病院、学校といった窓周り需要に対し、より多くの獲得を目指します。このほか、リフォーム市場向けの販売強化や、市場が拡大している介護関連用品の販売など、新設住宅分野の動向に依存しない新しい事業基盤の構築にも努力していきます。

新中期経営計画 2012-2015

商品開発力向上	▶ 販売政策と一体化した差別化商品開発の強化 海外売上拡大に向けた開発・生産・販売体制の構築
海外販売拡大	▶ 積極的マーケティング活動による売上の拡大
営業活動強化	▶ 非住宅分野、ストック住宅および新規事業領域への活動深耕
製造部門強化	▶ 原価低減活動の強化と的確なサプライチェーンの構築
財務体質の改善	▶ 棚卸資産の適正化と生産性向上による収益力の強化 固定費率の低減による成長持続型の財務体質への改善

Q 第73期の見通しはいかがですか？

新設住宅着工は引き続き現状程度の水準で推移するものと思われませんが、国内経済はほぼ震災前の水準へ回復しつつあり、復興需要はこれを加速するものと思われれます。但し、欧州危機の今後の展開、米国経済の回復度合いや原油価格の動向など世界的な景気の不透明感と、国内の電力供給不安など依然として予断を許さない状況が続いております。弊社は、こうした経営環境に対して常に戦略的な商品を効果的に投入して売上拡大を図るとともに、電力制限の際にも安定した商品供給ができるように自家発電機を設置するなど、持続的な成長を目指して邁進してまいります。

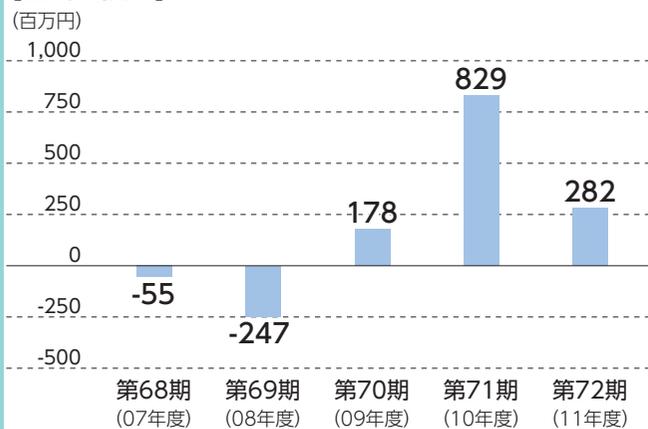
利益につきましては原価低減や生産性向上など、財務体質の改善に継続的に取り組み、収益力向上を図ってまいります。

Q 最後に株主の皆様へメッセージをお願いします。

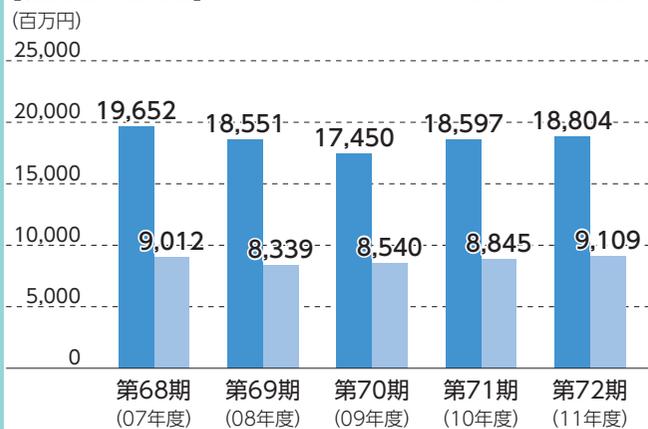
今後も企業の成長性を持続するために事業領域の拡大に向けた投資活動を積極的に展開する一方で、株主様への安定的な利益還元も継続してまいります。配当金につきましては、中間期の5円に加えて期末配当も5円とし、年間で10円といたしました。また、投資機会を拡大し、弊社株式の流動性を高めるために、2012年4月2日より、「単元株式を1,000株から100株」に変更いたしました。

これからも投資家の皆様に魅力を感じていただける企業になれるよう努力してまいります。皆様からの一層のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

【当期純損益】

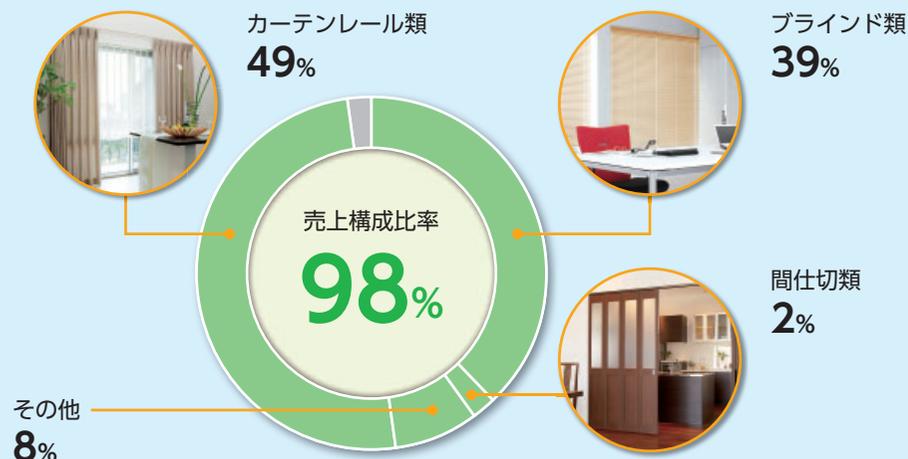


【総資産・純資産】



室内装飾関連事業 カーテンレール国内シェアNo.1

事業内容



国内シェアNo.1のカーテンレールを中心に、ブラインド、ロールスクリーン等の窓装飾品や間仕切りなどを開発・製造・販売しています。

カーテンレール類はベーシックな製品からデザイン性の高いもの、開閉音が静かなものや電動カーテンレールなどトップメーカーならではの多彩な品揃えをもちます。また、ブラインド類は横型ブラインドやロールスクリーン、ローマンシェード（たくし上げカーテン）や縦型ブラインドなど、デザインと機能にこだわった製品を総合的に開発しております。

売上高 **210億35百万円** (前期比 **2.4%増**)注

セグメント利益 **7億62百万円** (前期比 **19.3%減**)注

当期の営業概況

震災の影響により住宅建設に一時的な落ち込みがみられたものの、新設住宅着工はわずかながら前年を上回る実績となりました。売上高は、競争力強化に向けた新製品の投入や、展示会やキャンペーン等を活用した積極的な営業活動を展開したことに加えて、省エネが社会的課題となったことで日差しを遮るブラインド類の需要が喚起されたことなどから前期実績を上回りました。

商品面では主力のカーテンレールでデザイン性と機能性を兼ね備えた装飾性カーテンレール「レガートスクエア」を発売したほか、ブラインド類でも質感と価格を両立したベーシック商品「コルト」シリーズの商品ラインナップ追加や、消費者向けキャンペーンなどの販売強化をおこないました。また、節電商品の提案やカーボンフットプリントのシステム認証を取得するなど「省エネ」「環境配慮」にも積極的に対応いたしました。

海外では、フランス共和国に販売会社を設立し、海外売上拡大に向けた積極的な営業活動も推進しました。

セグメント利益は継続的に取り組んでいる原価低減活動や経費削減等に努めたものの、全体としては売上原価率をやや押し上げる結果となり、減益となりました。



節電商品提案パンフレット (夏・冬号)

【売上高】



【セグメント利益】



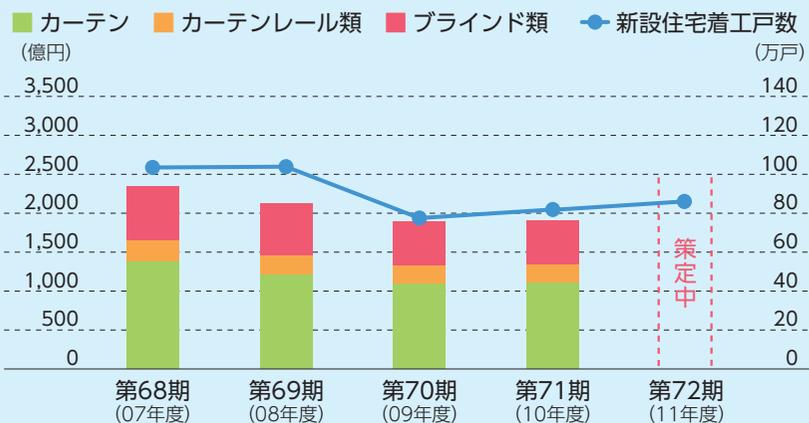
窓装飾品市場の推移

カーテン、カーテンレール類、ブラインド類を合計した窓装飾品の推定市場規模は2010年度で1,903億円※（卸売ベース）です。これらの製品の売上高は新設住宅着工戸数のほか、オフィスや病院など非住宅施設の建設動向に大きく影響を受けます。近年の市場規模は縮小傾向ですが、最新データの2010年度は新設住宅着工戸数の増加などから若干の市場回復となっております。

商品の品目に大きな変化は見られませんが、近年は木製ブラインドや縦型ブラインドなどが普及し、ブラインド類の多様化が進んでいます。

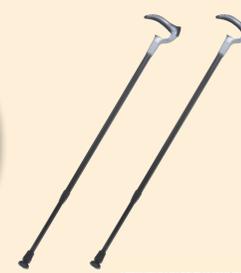
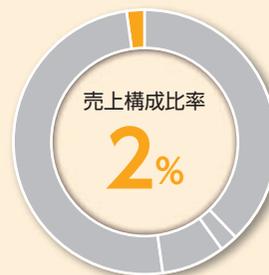
※データ出典：(社)日本インテリアファブリックス協会

	第68期 (07年度)	第69期 (08年度)	第70期 (09年度)	第71期 (10年度)	第72期 (11年度)
カーテン (億円)	1,375	1,202	1,092	1,106	策定中
カーテンレール類 (億円)	271	256	231	227	
ブラインド類 (億円)	699	669	575	571	
窓装飾品合計 (億円)	2,345	2,127	1,897	1,903	
新設住宅着工戸数 (万戸)	103.5	103.9	77.5	81.9	84



その他の事業

事業内容



ステッキを中心とした介護用品を販売しております。そのほか、物流業務委託や損害保険契約の代理業務をおこなっております。

2010年度グッドデザイン賞を受賞したステッキ「クレバー」

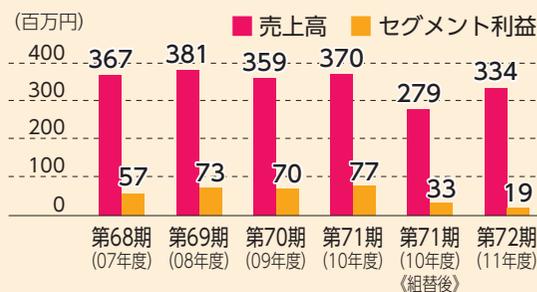
当期の営業概況

売上高

3億34百万円(前期比 19.5%増)注

セグメント利益

19百万円(前期比 41.7%減)注



ステッキを中心とした介護用品の販売が好調に推移した結果、売上高は前期実績を上回りましたが、セグメント損益は営業費用の増加により減益となりました。

注:当期よりセグメントの一部を変更し、従来「その他の事業」に含まれていたプラスチックチェーン等の仕入販売を「室内装飾関連事業」に変更しました。各セグメント業績を比較するため、71期については組替後のセグメント業績も表記しています。

New Product 新製品紹介

オフィスに最適な光と省エネ効果を発揮するブラインド

角度変化型ブラインド グラデーションブラインド

自然光を効率良く室内に採り入れ省エネ効果を発揮するブラインド

2011年11月発売の新製品について商品開発のキーパーソンに詳しく聞きました。



商品開発本部
小林 正則

スラット(ブラインドの羽)の角度を1枚ずつ変えて光を反射

震災以降、「省エネ」「節電」に対する意識が非常に高まっており、特にオフィスでの節電は経費削減にも繋がることから各企業での取り組みも活発におこなわれています。今回発売しました「グラデーションブラインド」は、スラット(ブラインドの羽)の角度を1枚ずつ変えることで自然光をさまざまな角度で室内に取り込み、部屋全体にやわらかい光をまんべんなく届けます。また、パソコンなどのモニターへの光の反射も分散されるため、室内の照明を使わずに快適なオフィス環境を提供できます。

自動制御と組み合わせるさらに省エネ

「グラデーションブラインド」で最大限の省エネ効果を発揮させるためには、電動タイプによる自動制御をお勧めしています。太陽の方角や高さなどを専用コントローラーで管理してスラットの角度を自動調整し、常に最適な状態で

室内に光を採り入れることができます。現在、設計事務所や大手建設会社などを中心にシミュレーションデータによる提案営業を強化しているところです。

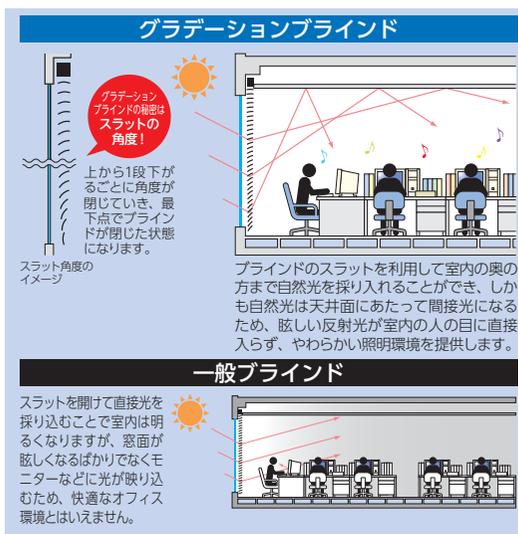
ニーズを取り込んだ商品開発を目指して

今後も「省エネ」「節電」などをキーワードとした環境対応型製品への関心や需要はますます高まっていくと思います。省エネ対策は家電ばかりではありません。建物で外気の影響を最も受けるのは「窓」です。最近リビングなどの窓を大きく設計し、明るい室内にした住宅も多くなっており、窓から省エネ対策をおこなうことで効率的で快適な住空間が実現できると思います。今後も徹底したマーケティング活動を実践し、お客様のニーズへタイムリーな商品提案がおこなえるように商品開発をおこなっていきたいと思います。



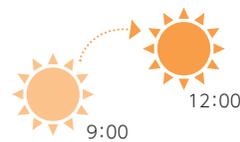
一般のブラインド

グラデーションブラインド



自動制御で大幅な省エネを実現できます。

太陽の高さが変わっても...



専用コントローラーでスラットの角度は常に最適に



専用コントローラー用パソコン

蛍光灯の光量を抑えることができます。調光機能付の蛍光灯を使えば、さらに効果的です。



照明コスト、ダウン!



R+T2012(国際シャッター・ブラインド・門扉専門見本市)へトーソーヨーロッパ初出展!

2011年8月に、ヨーロッパ市場における窓周り製品の販売強化を目的としてフランス共和国のパリ郊外に設立したグループ子会社「TOSO EUROPE S.A.S.」(トーソーヨーロッパ)が、2012年2月28日～3月3日にドイツ・シュトゥットガルトで開催された「R+T2012(国際シャッター・ブラインド・門扉専門見本市)」へ初出展いたしました。

展示ブースは黒を基調としながら、シルバーの骨材を使用して中の製品が映えるように工夫しました。また、メカの図面をビジュアライズしたグラフィックをブース壁面に施すことで、精巧さと高感度を高めています。

会場はトーソーヨーロッパのスタッフや世界各国の販売代理店と日本からの応援などを中心に接客をおこない、モニターによる動画の製品PRや、通訳を活用して7ヶ国語の言語で対応するなど、世界中から約400社の業界関係者がブースを訪れました。

今後、ヨーロッパ市場での販売拡大を通じて、「TOSO = 高品質かつデザイン性の高い窓周りの世界ブランド」として認知されることを目指し、一層の事業拡大につなげていきたいと考えています。



展示ブース

Leading world trade fair for roller shutters, doors/gates and sun protection systems
R+T
Messe Stuttgart, 18 Feb. - 3 March 2012

R+Tとは・・・?

シャッター、ドア、門扉、オーニング、窓装飾(ブラインド類)などの建築設備を一堂に集め、3年に1回開催される業界最大の展示会。ヨーロッパ圏内を中心に世界中から50,000人を超える来場者が訪れます。

今年は同様の展示会が中国(3月)やアメリカ(5月)で開催され、今後はロシア(9月)でも予定されています。



会場の様子

<TOSO EUROPE S.A.S. 会社概要>

ヨーロッパ市場における窓周り製品の販売強化を目的として、2011年8月にフランス・ミュラン市に設立。

現地のニーズに合わせたカーテンレールやロールスクリーン等の製造・販売をおこなっています。

- 代表者 : トーソー株式会社
- 業務執行役 : OLIVIER DESCOURTIS (オリビエ・ディスクルティス)
- 資本金 : 150万ユーロ
- URL : www.toso-europe.com

TOPICS 2011年度 トーソーNEWS ~当期の主なトピックス~

6月 カーテンレール新製品発売

近時のインテリアトレンドを取り入れながら機能性も備えたカーテンレールやカーテンアクセサリーなどの新製品を発売しました。



8月 個人投資家向け展示会 「IRフォーラム 2011東京」へ出展

東京・青山のTEPIA（テピア）で開催された個人投資家向けのIR展示会「IRフォーラム2011 東京」（主催：株式会社ツバルの森）に出展しました。



10月 カーテンレール新製品「レガートスクエア」が 2011年度グッドデザイン賞を受賞

（財）日本産業デザイン振興会が主催する総合的デザイン評価・推奨制度であるグッドデザイン賞を今年も受賞しました。



ブラインド類新製品発売

インテリアブラインドやロールスクリーン、プリーツスクリーンなど新たなメカやスクリーンを追加。製品のラインナップ強化をおこないました。



2月 「R+T2012」へ トーソーヨーロッパ初出展!

(P6でご紹介)

3月 横型アルミ製ブラインドに 遮熱効果タイプの新色追加

アルミ製ブラインドに夏の「省エネ」効果が期待できる遮熱機能付きの新色を追加しました。



2011年 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 2012年 1月 2月 3月

5月 新製品展示会 「トーソーウインドウファッションフェア2011」を開催

6月発売の新製品を中心としたインテリア業界関係者向けの展示会「トーソーウインドウファッションフェア2011」を全国34箇所で開催しました。



9月 カーテンメーカーの合同発表会 「with Curtains 2011」を開催

日本を代表するカーテンメーカー10社の新製品情報や、最新のインテリアトレンドを、インテリアコーディネーターなどに紹介をする発表会を東京国際フォーラムにて開催しました。カーテンレールのトップメーカーならではの合同発表会として高い評価をいただきました。



11月 「JAPANTEX2011」に出展

窓周りをはじめとしたインテリア業界を代表する企業が集う展示会に出展しました。3日間にわたり多くの方々に商品をご覧いただきました。



3月 個人投資家向け 会社説明会を開催

日本アナリスト協会主催の個人投資家向け会社説明会を開催いたしました。

8月 トーソーヨーロッパS.A.S. を設立

2011年8月、フランス共和国に販売子会社「TOSO EUROPE S.A.S. (トーソーヨーロッパ)」を設立しました。



12月 カーボンフットプリント「システム認証」を取得

製品のライフサイクル（原材料の調達～廃棄まで）において発生するCO₂の総排出量を自社にて算出することができる「システム認証」を取得。

※ 2012年3月現在 日本で6社のみ



株主優待制度のご案内／株主配当のお知らせ

株主優待

弊社では、株主様の日頃のご支援にお応えするとともに、弊社株式への投資魅力を高め、株主数の増加を図ることを目的に株主優待制度を設けております。

3,000円相当の商品を贈呈！

ギフトカタログに掲載された旬の食材や生活用品等35品目の中から、お好みの品物1点をお選びいただけます。



※対象株主様

毎年3月末日現在の株主名簿に記載された1,000株以上保有の株主様を対象といたします。

※2011年3月末日を権利確定日とする株主優待は、2011年9月末日をもってお申し込みの受付を終了しております。

インドネシア植林へ225,000円を寄付

2010年度より株主優待に「インドネシア植林への寄付」を設けております。お申し込みいただきました皆様に厚くお礼申し上げます。株主優待にお申し込みいただかなかった方々の優待相当金額と合わせて、2011年度は合計225,000円を弊社インドネシア共和国子会社での植林事業に寄付させていただきました。今後も株主の皆様とともに環境保全活動に努めてまいりますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

インドネシア植林への寄付金による活動実績

累計本数 約7,400本 (2012年3月末現在)

※株主の皆様による寄付および弊社植林活動による実績を含みます。



株主配当

年間配当金を増額

弊社は、上場企業として株主の皆様への利益還元は重要な責務であり、安定的な配当の継続を重視しつつ業績および今後の設備投資計画等を勘案して利益配分をおこないたいと考えております。**2012年3月期の期末配当金につきましても前期同様に5円とし、中間配当とあわせて年間配当金は10円へ増額いたしました。**今後も収益力向上と財務体質の強化を図り、利益還元に努めてまいりますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【お知らせ】 単元株式数を100株へ変更

投資家の皆様により投資しやすい環境を整えることで弊社株式の流動性を高めるとともに、投資家層の投資機会の拡大を図るため、2012年4月2日より単元株式を1,000株から100株に変更いたしました。

■1株あたり配当金の推移

	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
中間配当金	3円	3円	5円
期末配当金	3円	5円	5円
合計（年間）	6円	8円	10円

財務諸表 (連結)

連結貸借対照表 (単位: 百万円)

	当期末 2012年3月31日現在	前期末 2011年3月31日現在	増減(△)
資産の部			
流動資産	14,705	14,545	160
固定資産	4,098	4,052	46
有形固定資産	3,219	2,913	306
無形固定資産	201	257	△56
投資その他の資産	678	881	△203
POINT1 資産合計	18,804	18,597	206
負債の部			
流動負債	6,859	5,842	1,016
固定負債	2,835	3,909	△1,074
POINT2 負債合計	9,694	9,752	△57
純資産の部			
株主資本	9,267	9,106	160
資本金	1,170	1,170	0
資本剰余金	1,370	1,344	25
利益剰余金	7,154	6,976	178
自己株式	△427	△385	△42
その他の包括利益累計額	△186	△288	102
その他有価証券評価差額金	36	32	4
繰延ヘッジ損益	△18	△127	109
為替換算調整勘定	△205	△193	△11
少数株主持分	28	28	0
純資産合計	9,109	8,845	263
負債純資産合計	18,804	18,597	206

POINT1 資産合計

前期末より206百万円の増加

有形固定資産の取得や自己株式の取得等により現金及び預金が247百万円減少しました。また、新製品の金型や発電機、システム関連設備の購入などにより有形固定資産が306百万円増加しました。

POINT2 負債合計

前期末より57百万円の減少

流動負債にて未払金が136百万円増加しましたが、借入金や社債の返済・償還により有利子負債が130百万円減少しています。

連結損益計算書 (単位: 百万円)

	当期 2011年4月1日から 2012年3月31日まで	前期 2010年4月1日から 2011年3月31日まで	増減(△)
売上高	21,369	20,832	537
売上原価	12,214	11,640	574
売上総利益	9,155	9,192	△37
販売費及び一般管理費	8,376	8,217	159
POINT3 営業利益	778	975	△196
営業外収益	81	143	△61
営業外費用	125	164	△39
経常利益	734	953	△218
特別利益	1	2	△1
特別損失	26	99	△73
税金等調整前当期純利益	709	856	△147
法人税、住民税及び事業税	191	116	75
法人税等調整額	236	△89	326
法人税等合計	427	26	401
少数株主損益調整前当期純利益	281	830	△548
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	0	△1
POINT4 当期純利益	282	829	△547

連結株主資本等変動計算書 (単位: 百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				少数株主 持分	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価 証券評価差 額金	繰延 ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額 合計			
2011年4月1日から 2012年3月31日まで												
2011年4月1日残高	1,170	1,344	6,976	△385	9,106	32	△127	△193	△288	28	8,845	
当期変動額												
剰余金の配当			△104		△104						△104	
当期純利益			282		282						282	
自己株式の取得				△109	△109						△109	
自己株式の処分		25		66	92						92	
連結子会社の増加による少数株主持分の増減										1	1	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						4	109	△11	102	△1	101	
当期変動額合計	-	25	178	△42	160	4	109	△11	102	0	263	
2012年3月31日残高	1,170	1,370	7,154	△427	9,267	36	△18	△205	△186	28	9,109	

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

	当期 2011年4月1日から 2012年3月31日まで	前期 2010年4月1日から 2011年3月31日まで	増減(△)
営業活動によるキャッシュ・フロー	830	859	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△729	△122	△606
財務活動によるキャッシュ・フロー	△333	△953	619
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	△25	10
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△247	△242	△5
現金及び現金同等物の期首残高	3,097	3,339	△242
現金及び現金同等物の期末残高	2,849	3,097	△247

POINT5

POINT3 営業利益

前期比196百万円の減少

材料価格の上昇などにより売上原価が574百万円増加したことに加え、売上高増加に伴う荷造運搬費の増加や耐震関連の修繕費用など、販売費及び一般管理費が159百万円増加したことなどから減益となりました。

POINT4 当期純利益

前期比547百万円の減少

経常利益が218百万円減少したことに加え、税務上の繰越欠損金解消などにより税負担が401百万円増加したことにより減益となりました。

POINT5 投資活動によるキャッシュ・フローおよび財務活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローでは有形固定資産の取得による支出が726百万円ありました。財務活動によるキャッシュ・フローでは社債の償還による支出が170百万円あったほか、配当金の支払いによる支出が104百万円ありました。

会社概要 (2012年3月31日現在)

会社名 トソー株式会社

英文社名 TOSO CO.,LTD.

本社所在地 〒104-0033
東京都中央区新川一丁目4番9号

電話 03(3552)1211(代)

設立 1949年9月

資本金 11億7,000万円

主な事業内容 インテリア製品の開発、製造、販売
国土交通大臣許可内装仕上工事業(般-23)第16989号
ISO9001認証取得:JQA-QM5920製造本部/商品開発本部
ISO14001認証取得:JQA-EM2416つくば事業場/水海道事業場

従業員数 931名(連結)、565名(単体)

役員 (2012年6月28日現在)

代表取締役社長	大槻 保人
代表取締役 専務取締役	中村 潔
常務取締役	松尾 守
取締役相談役	大槻 秀人
取締役	林 淳之
取締役	久保田 英司
取締役	花田 正孝
取締役	森 兼康博
取締役	藤田 洋一
常勤監査役	山井 潤一
監査役	加瀬 兼司
監査役	久保 英幸

(注) 監査役加瀬兼司氏及び監査役久保英幸氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式情報 (2012年3月31日現在)

発行可能株式総数 30,000,000株

発行済株式の総数 11,897,600株

株主数 975名

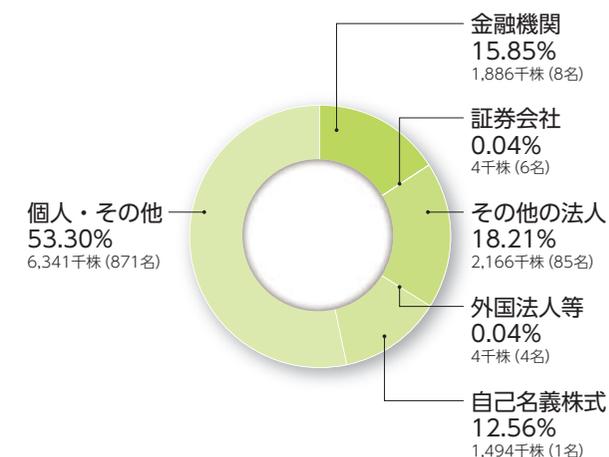
大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
大槻 保人	1,513	12.72
トソー取引先持株会	898	7.54
トソー社員持株会	607	5.10
株式会社みずほ銀行	458	3.85
十和運送株式会社	354	2.98
株式会社三菱東京UFJ銀行	338	2.84
第一生命保険株式会社	222	1.86
株式会社東京都民銀行	216	1.82
株式会社常陽銀行	215	1.80
大槻 秀人	203	1.71

(注1) 持株数は千株未満を、持株比率は小数点第2位未満をそれぞれ切り捨てて表示表記しております。

(注2) 弊社は自己株式1,494千株を保有しております。

所有者別分布状況



事業拠点一覧

営業拠点 札幌支店、仙台支店、さいたま支店、
東京支店、横浜支店、名古屋支店、大阪支店、
広島支店、福岡支店

営業所16ヶ所

国内工場 つくば工場(茨城県)、水海道工場(茨城県)

物流拠点 流通センター(茨城県)、
流通センター(兵庫県)、札幌配送センター、
福岡配送センター

ショールーム トソープラザ(東京都)

連結子会社 サイレントグリス株式会社
トソーサービス株式会社
フジホーム株式会社
トソー流通サービス株式会社
トソー商事株式会社
P.T.トソー・インダストリー・インドネシア
東装窓飾(上海)有限公司
トソーヨーロッパS.A.S.



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月末日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
単元株式数	100株(2012年4月2日より1,000株から100株に変更いたしました)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する。
ホームページアドレス	http://www.toso.co.jp
上場取引所	東京証券取引所市場第二部

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際には、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受け取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をされる株主様は大切に保管してください。

(表紙写真)

カーテンレール

「ヴェルサ ミストシルバー」

トソー株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川一丁目4番9号

<http://www.toso.co.jp>

証券コード：5956



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

